



伊万里市環境基本計画

豊かな自然と人が共生するまち・伊万里

平成28年3月

伊万里市



※表紙の写真について

表紙の花は、伊万里市山代町に生育し、夏になると黄色の可愛い花を咲かせている「ハマボウ」です。

この植物は、主に海岸や塩湿地帯など塩分に富んだ地区に生育する「塩生植物」ですが、海岸開発などの影響で全国的に絶滅が危惧されており、佐賀県も準絶滅危惧種として指定しています。

山代町では、平成 12 年度からやましろ塾内にて「塩生植物」に関する学習会や保護活動を行われていましたが、平成 14 年 7 月 25 日に山代町「塩生植物保存会」を立ち上げ、ハマボウだけでなく他の貴重な塩生植物も含めて積極的な保護活動が行われています。



ごあいさつ

伊万里市は、佐賀県の北西部にあり、天然の良港である伊万里湾と、八幡岳や青螺山、国見山など三方を山々に囲まれ、多彩で豊かな自然を形成しています。そして、私たちの生活や文化、産業は、この豊かな環境から多くの恵みを受けながら育まれてきました。

一方、私たちは、環境へ様々な影響を及ぼしており、今日の環境問題の多くは、日常生活や事業活動による環境への負荷の増大によるものと言われております。高度成長期以来の急速な社会経済システムの変革が、かけがえのない自然環境に影響を及ぼした結果、野生動植物の生息環境が悪化し、絶滅のおそれが生じている種も見られるようになってきています。また、全国各地において局地的に発生している未曾有の大震災や、体温を超える猛暑日の頻発は、もはや、異常気象と呼ぶだけでは片付けられない、人類に対する、自然界からの警鐘ではないか、との思いを禁じ得ません。

私達が享受してきたこの健全で恵み豊かな環境を、次の世代に引き継いでいくことは私たちの責務であり、今を生きるすべての者が協力し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を構築していかなければなりません。

市では、平成18年3月に策定した「伊万里市環境基本計画」により、各種施策を総合的かつ計画的に推進してきましたが、計画策定から9年が経過し、私たちを取り巻く環境は先程の様に大きく変化しております。東日本大震災後の電力需給対策としての省エネ・節電の徹底や再生可能エネルギー導入の加速化、地球規模の温暖化対策への対応、また、廃棄物の適正処理・リサイクルの促進、生物多様性の確保など、新たな課題や今後の社会を見据えた対応が求められているところです。

こうした環境情勢の変化に的確に対応し、本市の地域特性や産業特性を活かした取組を一層推進していくため、このたび、平成37年度を目標年度とする第2次の「伊万里市環境基本計画」を策定しました。

私は、今後、この新しい計画に基づき、「市民との協働による安心と豊かさの創造」を目指して、将来都市像として掲げた、「活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち 伊万里」などの実現に、全力で取り組んでまいります。

市民の皆様におかれましても、安全で快適な地域づくりに向け、積極的な取組を進めていただきますようお願い申し上げます。

平成28年3月

伊万里市長 塚部 芳和



目 次

第 1 章 計画策定の基本的事項	
1 計画見直しの背景	1
2 計画の性格と役割	2
3 計画の対象分野・期間	2
(1) 計画対象地域	2
(2) 計画対象分野	2
(3) 期 間	2
(4) 計画の位置付け	3
第 2 章 伊万里市の概要	
(1) 地 形	4
(2) 人 口	5
(3) 気 象	5
(4) 民有地の土地利用	6
第 3 章 計画の目指すべき環境像	
1 めざす環境都市像	7
2 基本理念	7
3 基本目標	8
4 計画実現の主体と役割	9
第 4 章 施策の状況と展開方法	
1 施策体系図	10
2 目標	11
(1) 数値目標	11
(2) 定性目標	11

3 基本目標への展開	12
(1) 生活環境	
①生活環境の現況と課題	12
②生活環境の具体的な取り組み	14
(2) まちなみ環境	
①まちなみ環境の現況と課題	17
②まちなみ環境の具体的な取り組み	20
(3) 自然環境	
①自然環境の現況と課題	23
②自然環境の具体的な取り組み	24
(4) 地球環境	
①地球環境の現況と課題	27
②地球環境の具体的な取り組み	27
(5) 環境保全体制	
①環境保全体制の現況と課題	31
②環境保全体制の具体的な取り組み	32

第5章 計画の進行管理

1 推進体制	33
2 進行管理	34

◆資料編

1. 環境調査結果等の状況
2. 市民・事業者アンケート
3. 伊万里市環境基本計画策定委員会設置要綱
4. 伊万里市環境基本計画策定委員名簿